



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東
コード番号 4838 URL <https://www.spaceshower.net/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 吉人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242
四半期報告書提出予定日 2023年11月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,026	18.9	683	986.7	679	176.1	424	97.4
2023年3月期第2四半期	7,591	17.3	62	—	246	8.6	215	23.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 417百万円 (85.3%) 2023年3月期第2四半期 225百万円 (31.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	50.72	—
2023年3月期第2四半期	25.83	—

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期第2四半期 ー百万円 2023年3月期第2四半期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,354	4,042	48.4
2023年3月期	7,804	3,691	47.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,042百万円 2023年3月期 3,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,650	8.2	554	261.3	600	6.5	374	7.5	44.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	8,811,354株	2023年3月期	8,811,354株
2024年3月期2Q	416,289株	2023年3月期	449,881株
2024年3月期2Q	8,378,269株	2023年3月期2Q	8,336,414株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行などに伴い、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向が見られた一方、長期化するロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格高騰や、長引く歴史的な円安状態など物価を押し上げる要因が重なり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する、音楽・エンタテインメント業界においては、各種サービスのデジタルシフトが急速に進み、定額サブスクリプションの音楽配信やライブ・イベント動画配信の普及・定着により、コンテンツのデジタル配信市場が堅調な成長を続けるとともに、デジタルプラットフォームの普及により、グローバルに向けたコンテンツ提供が容易となってきました。ライブ・イベント市場については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各制限を撤廃したライブ・イベントの通常開催が多くみられるようになり、動員についても徐々に回復傾向にあります。

このように社会・経済環境が急速に変化する中、当社グループでは、アーティスト・クリエイターに向けたデジタルを中心とするソリューションの提供や、ユーザー・ファンに向けたライブ・イベント等コンテンツを通じた感動の提供による事業成長を目指すべく、2022年5月13日に、当社グループの中期経営計画「Daylight 2024」

（2022～2024年度）を公表いたしました。本中期経営計画において、当社グループの事業セグメントを「メディアセグメント」、「ライブ・コンテンツセグメント」、「ソリューションセグメント」の3セグメントに再編するとともに、市場が縮小傾向にある既存の有料放送事業を中心とした「メディアセグメント」の収益を守りつつ、「ライブ・コンテンツセグメント」と「ソリューションセグメント」を成長の重点領域として事業収益の拡大を目指す方針を示すとともに、今後3年間の当社グループの方向性や収益目標を掲げました。2023年3月期からの3カ年、本中期経営計画のもと、事業の成長と企業価値向上の実現に向け、事業計画を推進しております。

当第2四半期連結累計期間においては、2023年5月27日、28日、幕張メッセ国際展示場にて、前年同期に新たに立ち上げた、ヒップホップをテーマとする国内最大規模のフェスティバル「POP YOURS」が、チケット完売となる約3万人動員を実現したことに続き、2023年8月25日～27日の3日間、当社主催の野外ライブ・イベント

「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2023」を開催し、コロナ禍以前同様に、5ステージ制や観客の声出し、イベント名物である熱気球等を復活させ、あらたに新設された「ラブシャラウンジ」を含めた全日程・全券種が完売するなど、過去最大の約8万人を動員いたしました。

さらに、2023年9月30日には、東京・大阪にてエンタテインメントカフェ「あっとほおーむカフェ」計10店舗を運営する当社の完全子会社インフィニア株式会社が、「あっとほおーむカフェ」の世界を完全バーチャル化した、メイドとのコミュニケーションサービス「バーチャルあっとほおーむカフェ」のスマートフォンアプリ版をリリースいたしました。場所などの制約がなく、さらに自由にコミュニケーションの楽しさをお届けするサービスの提供を目指すとともに、事業の拡大を図ってまいります。

これらの取り組みに加え、店舗ビジネスのコロナ禍からの回復や、ディストリビューション事業における音楽配信の好調などにより、売上高は9,026,602千円と前年同期比1,434,791千円増（同18.9%増）と増収となりました。また、営業損益は営業利益683,801千円と前年同期比620,878千円増（同98.7%増）と大幅な増益となりました。

経常損益以降の段階利益においては、昨年度まで獲得のあった、コロナ禍におけるイベント開催への補助を目的とした助成金制度の終了に伴う営業外収入の大幅減があったものの、経常利益679,158千円と前年同期比433,150千円増（同176.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益424,935千円と前年同期比209,624千円増（同97.4%増）と、増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①メディアセグメント

有料放送事業においては、番組販売売上が減少したことなどにより、前年同期比で減収減益となりました。また、映像制作事業においても、ミュージックビデオの制作案件等の受注減少などにより、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2,004,880千円と前年同期比338,617千円減（同14.4%減）となり、セグメント損益（経常損益）につきましてはセグメント利益（経常利益）124,810千円と前年同期比102,383千円減（同45.1%減）と、減収減益となりました。

②ライブ・コンテンツ セグメント

ライブハウス事業やエンタテインメントカフェ事業など店舗ビジネスにおいては、コロナ禍からの回復が続いたことにより、前年同期比で増収増益となりました。イベント事業においても、第1四半期連結会計期間開催の国内最大規模のヒップホップフェスティバル「POP YOURS」のチケット完売となる約3万人動員や、当第2四半期連結会計期間開催の「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2023」の全日程・全券種完売による約8万人動員の達成などにより、前年同期比で増収増益となりました。

これらの結果、売上高は4,413,397千円と前年同期比1,259,775千円増（同39.9%増）となり、セグメント損益（経常損益）につきましてはセグメント利益（経常利益）550,867千円と前年同期比479,535千円増（同672.3%増）と、増収増益となりました。

③ソリューション セグメント

ディストリビューション事業における音楽配信売上が好調に推移したことに加え、ファンクラブ事業における有料会員数の増加とEC/MD事業における大型案件の獲得により、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は2,608,323千円と前年同期比513,633千円増（同24.5%増）となり、セグメント損益（経常損益）につきましてはセグメント利益（経常利益）6,304千円と前年同期比64,289千円増（前年同期はセグメント損失（経常損失）57,985千円）と、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に受取手形及び売掛金が660,149千円、仕掛品が66,945千円、その他流動資産が104,834千円、ソフトウェア仮勘定が69,597千円増加した一方で、現金及び預金が262,389千円、リース資産（有形固定資産）が68,940千円、繰延税金資産が114,834千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ550,271千円増加し、8,354,901千円となりました。

負債は、主に買掛金が442,532千円、未払法人税等が87,117千円、その他流動負債が73,102千円増加した一方で、未払金が249,100千円、賞与引当金が147,273千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ199,307千円増加し、4,312,165千円となりました。

純資産は、譲渡制限付株式報酬付与のため自己株式を処分したことにより自己株式が13,637千円減少し、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ341,320千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ350,963千円増加し、4,042,735千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、262,389千円の使用となり、資金の四半期末残高は、2,404,744千円となりました。これは、営業活動により132,232千円獲得した一方で、投資活動により304,561千円、財務活動により90,060千円使用したことによるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の獲得は、132,232千円（前年同期は160,195千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益により673,040千円、減価償却費により89,287千円、仕入債務の増加により442,532千円獲得した一方で、売上債権の増加により660,149千円、棚卸資産の増加により70,235千円、その他の流動資産の増加により118,085千円、その他の流動負債の減少により100,233千円、賞与引当金の減少により147,273千円使用したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の使用は、304,561千円（前年同期は81,037千円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得により124,552千円、無形固定資産の取得により157,835千円使用したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の使用は、90,060千円（前年同期は90,394千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払により83,614千円使用したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、本日付け「2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」に記載の理由により、2023年5月12日に発表いたしました通期業績予想を据え置くことといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,667,134	2,404,744
受取手形及び売掛金	2,257,598	2,917,748
商品	56,344	60,165
仕掛品	204,698	271,643
貯蔵品	9,486	8,954
その他	200,459	305,293
貸倒引当金	△48,929	△63,578
流動資産合計	5,346,792	5,904,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,215,115	1,251,831
機械装置及び運搬具	17,487	12,787
工具、器具及び備品	782,312	820,856
土地	52,640	52,640
リース資産	85,070	16,130
建設仮勘定	4,400	—
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,270,222	△1,258,140
有形固定資産合計	886,805	896,105
無形固定資産		
商標権	98,184	91,873
ソフトウェア	157,973	192,858
ソフトウェア仮勘定	167,381	236,978
その他	19,247	12,266
無形固定資産合計	442,786	533,976
投資その他の資産		
投資有価証券	227,746	216,244
敷金及び保証金	266,933	273,193
繰延税金資産	590,032	475,197
その他	44,049	56,341
貸倒引当金	△2,265	△2,265
投資その他の資産合計	1,126,496	1,018,712
固定資産合計	2,456,087	2,448,795
繰延資産	1,750	1,132
資産合計	7,804,630	8,354,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,820,748	2,263,281
リース債務	6,811	735
未払金	762,014	512,913
未払法人税等	31,797	118,914
預り金	222,606	256,263
賞与引当金	295,143	147,870
役員賞与引当金	22,946	26,476
その他	151,635	224,738
流動負債合計	3,313,703	3,551,195
固定負債		
リース債務	1,825	1,455
退職給付に係る負債	719,684	679,834
役員退職慰労引当金	19,583	22,718
その他	58,062	56,962
固定負債合計	799,154	760,970
負債合計	4,112,858	4,312,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,760,117	1,763,645
利益剰余金	1,956,482	2,297,802
自己株式	△182,641	△169,003
株主資本合計	3,633,959	3,992,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,813	50,290
その他の包括利益累計額合計	57,813	50,290
純資産合計	3,691,772	4,042,735
負債純資産合計	7,804,630	8,354,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,591,810	9,026,602
売上原価	6,366,838	7,190,706
売上総利益	1,224,971	1,835,896
販売費及び一般管理費	1,162,049	1,152,094
営業利益	62,922	683,801
営業外収益		
受取利息	6	11
受取配当金	572	1,131
持分法による投資利益	1,484	—
為替差益	10,863	10,675
受取賃貸料	870	942
業務受託手数料	745	793
助成金収入	153,390	340
雑収入	15,341	1,751
営業外収益合計	183,273	15,645
営業外費用		
支払利息	150	47
助成金返還損	—	17,471
雑損失	37	2,769
営業外費用合計	187	20,288
経常利益	246,007	679,158
特別利益		
固定資産売却益	43	1,189
投資有価証券売却益	97,602	—
その他	8,403	—
特別利益合計	106,049	1,189
特別損失		
固定資産売却損	—	447
固定資産除却損	9	6,858
特別損失合計	9	7,306
税金等調整前四半期純利益	352,048	673,040
法人税、住民税及び事業税	14,570	129,290
法人税等調整額	126,887	118,814
法人税等合計	141,458	248,105
四半期純利益	210,590	424,935
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,720	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,310	424,935

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	210,590	424,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,651	△7,522
その他の包括利益合計	14,651	△7,522
四半期包括利益	225,242	417,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,962	417,412
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,720	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	352,048	673,040
減価償却費	87,263	89,287
無形固定資産償却費	51,495	43,117
株式報酬費用	5,124	9,416
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,608	14,649
受取利息及び受取配当金	△578	△1,142
敷金及び保証金償却	3,143	3,443
助成金収入	△153,390	△340
持分法による投資損益 (△は益)	△1,484	—
支払利息	150	47
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△43	6,109
無形固定資産除売却損益 (△は益)	9	7
投資有価証券売却損益 (△は益)	△97,602	—
出資金償却	769	1,861
差入保証金の増減額 (△は増加)	△43	△13
長期前払費用償却額	809	942
売上債権の増減額 (△は増加)	△46,084	△660,149
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△224,405	△70,235
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△116,111	△118,085
仕入債務の増減額 (△は減少)	79,747	442,532
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△164,558	△100,233
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	101,383	△1,100
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,038	△147,273
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,357	3,530
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	43,049	△39,850
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△102,159	3,135
その他	△3,801	—
小計	△226,274	152,699
利息及び配当金の受取額	578	1,142
利息の支払額	△150	△47
法人税等の還付額	7,820	24,445
法人税等の支払額	△95,560	△46,346
助成金の受取額	153,390	340
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160,195	132,232

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,545	△124,552
有形固定資産の売却による収入	1,327	1,885
無形固定資産の取得による支出	△79,848	△157,835
投資有価証券の売却による収入	210,000	0
貸付けによる支出	—	△200
貸付金の回収による収入	—	1,950
出資金の払込による支出	—	△16,765
出資金の回収による収入	1,104	647
敷金及び保証金の差入による支出	—	△16,548
敷金及び保証金の回収による収入	—	6,857
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,037	△304,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△83,113	△83,614
リース債務の返済による支出	△7,280	△6,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,394	△90,060
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△169,551	△262,389
現金及び現金同等物の期首残高	1,997,394	2,667,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,827,842	2,404,744

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	メディア	ライブ・コ ンテンツ	ソリューシ ョン	計		
売上高						
メディア売上	1,582,804	—	—	1,582,804	—	1,582,804
ライブ・コンテンツ 売上	—	3,153,622	—	3,153,622	—	3,153,622
ソリューション売上	—	—	2,094,690	2,094,690	—	2,094,690
映像制作売上	760,693	—	—	760,693	—	760,693
顧客との契約から生じ る収益	2,343,497	3,153,622	2,094,690	7,591,810	—	7,591,810
外部顧客への売上高	2,343,497	3,153,622	2,094,690	7,591,810	—	7,591,810
セグメント間の内部売 上高又は振替高	23,065	302,544	4,710	330,320	△330,320	—
計	2,366,563	3,456,167	2,099,400	7,922,131	△330,320	7,591,810
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	227,194	71,331	△57,985	240,540	5,467	246,007

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等5,467千円であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. セグメント情報の各売上区分につきましては、メディア売上には有料放送事業、オンデマンド事業の売上、ライブ・コンテンツ売上にはイベント事業、ライブハウス事業、マネジメント事業、エージェント事業、アライアンス事業、コンセプトカフェ事業の売上、ソリューション売上には、ディストリビューション事業、ファンクラブ事業、EC/MD事業の売上、映像制作売上には映像制作事業の売上がそれぞれ含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	メディア	ライブ・コ ンテンツ	ソリューシ ョン	計		
売上高						
メディア売上	1,421,180	—	—	1,421,180	—	1,421,180
ライブ・コンテンツ 売上	—	4,413,397	—	4,413,397	—	4,413,397
ソリューション売上	—	—	2,608,323	2,608,323	—	2,608,323
映像制作売上	583,699	—	—	583,699	—	583,699
顧客との契約から生じ る収益	2,004,880	4,413,397	2,608,323	9,026,602	—	9,026,602
外部顧客への売上高	2,004,880	4,413,397	2,608,323	9,026,602	—	9,026,602
セグメント間の内部売 上高又は振替高	23,635	288,292	7,687	319,614	△319,614	—
計	2,028,515	4,701,690	2,616,011	9,346,217	△319,614	9,026,602
セグメント利益	124,810	550,867	6,304	681,982	△2,823	679,158

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△2,823千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. セグメント情報の各売上区分につきましては、メディア売上には有料放送事業、オンデマンド事業の売上、ライブ・コンテンツ売上にはイベント事業、ライブハウス事業、マネジメント事業、エージェント事業、アライアンス事業、コンセプトカフェ事業の売上、ソリューション売上には、ディストリビューション事業、ファンクラブ事業、EC/MD事業の売上、映像制作売上には映像制作事業の売上がそれぞれ含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

（重要な後発事象）

当社と株式会社SK I Y A K I（以下「SK I Y A K I」といい、当社とSK I Y A K Iを総称して「両社」といいます。）は、本日（2023年11月10日）開催の両社それぞれの取締役会決議において、両社対等の精神のもとに当社における持株会社体制への移行を伴う経営統合（以下「本経営統合」といいます。）を行うことをそれぞれ決議決定いたしました。

両社は、本日付で、当社を株式交換完全親会社、SK I Y A K Iを株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）に係る株式交換契約（以下「本株式交換契約」といいます。）及び本経営統合に係る経営統合契約を締結いたしました。本株式交換については、両社それぞれにおいて、2024年1月26日（予定）に開催予定の臨時株主総会にて本株式交換契約の承認を受けた上で、2024年4月1日（以下「本効力発生日」といいます。）を効力発生日として行うことを予定しております。これにより、SK I Y A K Iの普通株式は、本効力発生日に先立つ2024年3月28日付で、株式会社東京証券取引所グロース市場において、上場廃止（最終売買日は2024年3月27日）となる予定です。

なお、詳細につきましては、本日公表の「株式会社スペースシャワーネットワークと株式会社SK I Y A K Iとの経営統合契約及び株式交換契約の締結、並びに株式会社スペースシャワーネットワークの吸収分割による持株会社体制への移行、商号変更その他の定款の一部変更及び代表取締役の異動に関するお知らせ」をご参照ください。